

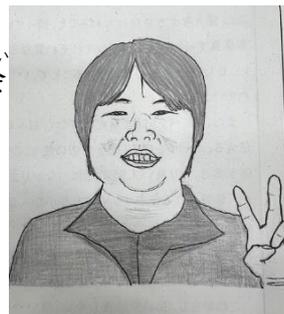
# 人権だより

No.326 (2025.7)

## リスペクト宣言

教務課 芳野 航太

みなさんは「リスペクト(Respect)」という言葉を知っていますか？  
これは「尊重する」「敬意を払う」という意味の英語で、日本サッカー協会  
(JFA)が2008年から推進している「リスペクトプロジェクト」の中心と  
なる考え方です。この「リスペクトプロジェクト」の一環で発表されたリス  
ペクト宣言では、サッカーに関わるすべての人々、選手、指導者、審判、  
観客、そしてサッカーを支える環境や道具に対して、敬意を持って接する  
ことの大切さが強調されています。



スポーツの世界では、勝敗だけでなく、フェアプレーや相手への敬意が非常に重要です。  
試合中に相手をけなしたり、審判の判定に不満をぶついたりすることは、リスペクトの精神に  
反する行動です。一方で、相手の良いプレーを称えたり、試合後に「ありがとう」と声をかけた  
りすることは、リスペクトの心を表す素晴らしい行動です。こうした姿勢は、スポーツを通じて  
人間性を育てることにつながります。

このリスペクトの考え方は、学校生活にも深く関係しています。友だちの意見をしっかりと聞  
くこと、違う考え方を受け入れること、困っている人に手を差し伸べること。これらはすべて、  
他人を尊重する行動です。人はそれぞれ異なる価値観や背景を持っています。その違いを認  
め合い、互いに敬意を持って接することで、いじめや差別のない、安心して過ごせる学校があ  
つていきます。

また、リスペクトは言葉だけでなく、日々の行動で示すことが大切です。挨拶をする、感謝を  
伝える、ルールを守る、物を大切に使う。こうした小さな行動一つ一つが、周囲の人との信頼  
関係を築き、より良い人間関係につながります。リスペクトの心を持つことで、自分自身も  
周囲から尊重される存在となり、より豊かな人間関係を築くことができるのです。

日本サッカー協会のリスペクト宣言は、スポーツの枠を超えて、私たちの生き方そのものに  
大切なメッセージを投げかけています。私たち一人一人が「人を大切にする心」を持ち、それ  
を行動に移すことで、学校も社会も温かく、思いやりに満ちた場所になります。

これからも、互いを尊重し合い、思いやりのある行動を心がけていきましょう。リスペクトの  
心は、きっとみなさんの学校生活を、そして未来を明るく照らしてくれるはずです。

## 【人権委員の声】

部活の大会で、相手が無愛想だったり、イライラしていたりすると、自分も居心地が悪くなります。周りの人を不愉快な気持ちにさせないように一言一言を大切にしたいと思いました。(4年生 人権委員)

私も、小学生の頃からスポーツを続けていますが、相手やコーチがいないとスポーツは成り立たないので常に周りに感謝の気持ちを忘れずスポーツを楽しむことを心がけています。勝敗も大事ですが、それ以上に相手をリスペクトし、フェアプレーをすることが大事だと思うので、相手を思いやる気持ちを忘れずプレーしたいです。(4年生 人権委員)

人を思いやる行動をとれば、それは自分に返ってくると思うので、一人一人が人を思いやる行動をとれるようになれば、より良い世界になるのかなと思った。(6年生 人権委員)

リスペクト、尊敬するという行為は、目上の人だけにではなく、友達や仲間など対等な関係の相手にも払う必要があるということ、そしてその大切さに気が付くことができました。今まで友達に対して、「友達だから…仲が良いから…まあいいか」と思って、相手へのリスペクトを忘れて接してしまっていたことが多々ありました。相手へのリスペクトは“自分がされて嫌なことは相手にはしない”ということが基本なのかもしれないと思いました。互いにリスペクトし合える、そんな温かい空間になるよう、友達にもリスペクトを払いたいです。(6年生 人権委員)



### 人権教育相談課より



今回、執筆いただいた芳野先生が書かれていた、サッカーにおけるリスペクト精神は、日常生活のあらゆる場面で大切ですね。一人一人が人や物に対して尊敬の念を持って接し、思いやりの気持ちに満ちた、明るい世界にしていきたいと思います。

私事で恐縮ですが、先日、サッカーチームに所属している息子が出場した大会の目的は、「グッドルーザーの精神(=たとえ勝負に負けたとしても相手を称えられる強く前向きな心)」を伝え、道徳心を持った自立した人材を育て、とありました。地域社会の時代を担う少年少女たちに、他者との協調性や連帯感、相互理解を深め、心豊かな人材の育成も目的とされていて、温かい雰囲気の中で子どもたちはのびのびとプレーすることができていました。スポーツからも、大切なことを学んでほしいと思います。

人権委員が4月末から5月頭にかけて中庭に植えたひまわりたちが、少しずつ花を咲かせてくれています。満開になる日を楽しみに、心をこめて大切にお世話をしていきたいと思っています。また、きれいに咲き誇るひまわりが、みなさんにとって平和について考え・行動する機会となればと思います。みなさん、日々忙しく過ごしていると思いますが、一生懸命伸びゆく中庭のひまわりたちに目をとめてみてください。